

近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究会
第37回夏季研修会 実施要項

主管校 伊丹市立伊丹特別支援学校

- 1 大会テーマ 「多様な学び方を支える教師力を高めよう」
～新学習指導要領を踏まえた主体的・対話的な学びの視点から～
- 2 主催 近畿地区特別支援学校肢体不自由教育研究会
- 3 共催 伊丹市教育委員会
- 4 後援 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会（申請中）
近畿地区特別支援学校肢体不自由教育校長会（申請中）
兵庫県教育委員会（申請中）
神戸市教育委員会（申請中）
- 5 主管 兵庫ブロック
- 6 事務局 伊丹市立伊丹特別支援学校（主管校）
〒664-0006 兵庫県伊丹市鴻池1丁目8-6
TEL 072-783-5436 FAX 072-783-5477
- 7 期日 令和元（2019）年8月9日（金）
- 8 会場 ①東り いたみホール（全体講演会、実技講座）伊丹市宮ノ前1丁目1-3
②伊丹アイフォニックホール（実技講座）伊丹市宮ノ前1丁目3-30
③伊丹市立図書館 ことば蔵（実技講座）伊丹市宮ノ前3丁目7-4
- 9 日程
9：10 受付開始
9：40 開会行事
10：00 全体講演会
12：00 昼食・休憩
13：30 実技講座（午後の開会・閉会は講座ごと）
16：00 日程終了
- 10 参加費 1600円（全日）、1000円（半日）
- 11 講演会 演題 「新学習指導要領を踏まえた肢体不自由児への指導・支援の展開」
講師 筑波大学大学院 教授 川間 健之介 先生
前筑波大学附属桐が丘特別支援学校 校長

新学習指導要領では、全ての教科等を、育成を目指す資質・能力、すなわち①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の三つの柱で整理しています。知的障害のある児童生徒のための各教科の目標や内容についても、この3つの柱で整理し、幼稚園や小・中学校との各教科の目標や内容と連続性があるものになっています。領域・教科等を合わせた指導、非常に障害が重度である児童生徒の指導など、特別支援学校の教育課程や授業の在り方がこれまでと大きく変わっていくことが期待できます。

1 2 実技講座（7講座）

実技講座名	運営担当校	会場（予定）	定員（予定）
①摂食コミュニケーション～食べる喜び伝えたい～	川西市立 川西養護学校	②アイフォニック 小ホール2	50名程度
②教材・教具の「xR：さまざまなリアリティー体験」の工夫と活用	宝塚市立 養護学校	①いたみホール 3階 大会議室	40名程度
③災害後の肢体不自由児のストレスと心のケア	神戸市立 友生支援学校	③ことば蔵 1階 多目的室2	50名程度
④「いい姿勢とはなんだろう？」 ～目的に応じたポジショニングの支援を目指して～	三田市立 ひまわり特別支援学校	②アイフォニック 小ホール1	40名程度
⑤「動作の学習」（実技含む）	丹波篠山市立 篠山養護学校	①いたみホール 地下 多目的ホール	30名程度
⑥かずの指導方法	神戸市立 青陽須磨支援学校	①いたみホール 6階 中ホール	70名程度
⑦肢体不自由児の水泳指導	尼崎市立 あまよう特別支援学校	③ことば蔵 地下 多目的室1	60名程度

★使用する会場は現時点での予定です。当日資料にてご確認ください。

1 3 実技講座の概要

	実技講座名	講座の概要
①	<p>摂食コミュニケーション ～食べる喜び伝えたい～</p> <p>NPO 法人 摂食コミュニケーション・ネットワーク 理事長 中島知夏子先生</p>	<p>「食べることは、自然にできそうなのになぜできないのですか？」 「舌を出さずに食べられたいのに」「うまく飲み込めなくて、むせてしまいます」など、日常の食事場面で、このような困りや悩みがありませんか？食べるということは、生活の中心に位置し、人と人とのコミュニケーションを円滑にする大きな役割を果たしています。しかし、障害のある子ども達への食事支援では、未学習や誤学習により発達に即した摂食嚥下が学びにくい現状があります。口から食べることの意義、摂食のメカニズム、観察のポイント、摂食指導や関わり方の基礎知識など、具体的な実技を体験しながら学んでいきたいと思えます。焦らず、丁寧に、確実に指導を重ねていくと、必ず指導者と子どもたちが心を通わせ、生き生きとした表情がみられます。一人でも多くの子どもたちが食べる喜びを感じ、心もからだも成長するための支援ができるスキルアップを目指しましょう！</p>
②	<p>教材・教具の「xR：さまざまなリアリティー体験」の工夫と活用</p> <p>大阪府立岸和田支援学校 教諭 馬淵哲哉先生</p>	<p>xR（さまざまなリアリティー体験）とはVR：Virtual Reality：バーチャルリアリティー（仮想現実）やAR：Augmented Reality：オーグメンティドリアリティー（拡張現実）等の総称です。近年世界的にも注目され、その進歩は凄まじく、これらの分類することすら難しくなっています。これらはゲームだけでなく、スポーツ、医療、生理治療等にも用いられていますが、マイクロソフト社やグーグル社等もこれらに注目し、その中には教育関係のものも多く見られます。新学習指導要領の改訂により、主体的・対話的で深い学びが求められる中ではこれらの活用は非常に有効だと考えます。そこで、実際の活用事例の紹介等を通して、どういうものかを知っていただけるきっかけになればと思います。</p>

③	<p>災害後の肢体不自由児のストレスと心のケア</p> <p>兵庫県立大学 教授 富永良喜先生</p>	<p>2018年6月には大阪北部地震、7月には西日本を中心に相次ぐ大雨での豪雨災害がありました。そのような災害時に、肢体不自由児は自分で思うように動けないので、地震の揺れや豪雨での避難・避難所での生活は相当なストレスとなります。災害後にどのようなストレス反応が生じ、どのように対応すればよいのかを、事例や実技を通して学びます。また、大きな災害後には、学校で行う避難訓練にも強い心身反応を示す児童生徒がみられます。心のケアを取り入れた防災教育も重要になってくるので、そのことについても学びます。</p>
④	<p>「いい姿勢とはなんだろう？」 ～目的に応じたポジショニングの支援を目指して～</p> <p>公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団 子ども発達支援センター 作業療法士科 主任 飯田勇人先生</p>	<p>日々の現場において姿勢機能に困難さがある児童・生徒が多い中、ポジショニングを考慮することは、どのような場面でも、切っても切り離せない支援の一つであると思います。そこで本講座では、「いい姿勢とはなんだろう？」をテーマにポジショニングについて考えます。まずは“基本的な身体の構造や姿勢に関わる機能とその発達”を、座学に加えご参加いただく方々自身の身体やお互いの身体交流を通して学びます。そして、“その活動の目的は何？”という視点で、その活動でできる経験は何か、またその経験をすることがどんな意味を持つのかを考えながら、目的に応じたポジショニングを探ることで、先生方の日々の試行錯誤に活かしていただくことを目的としています。</p> <p>★動きやすい服装でお越しください</p>
⑤	<p>「動作の学習」(実技含む)</p> <p>関西国際大学 准教授 梶正義先生</p>	<p>臨床動作法は、肢体不自由教育だけでなく、教育援助や、行動支援の方法として広く学校現場で役立つものです。</p> <p>からだの学習について子どもが学習したり、教育援助として指導したりすることを総称して「動作学習」と呼ばれています。本人がからだの課題に向きあいコントロールし、動作学習で成果が見えてくると、こころの困難、課題も改善されていきます。動作学習は、こころと一体となった「からだ」の動きであり、単なる「身体」の動きではありません。本人がどのように動かそうとしているか等を感じる身体感覚が重要です。</p> <p>本講座では、動作法の理論と、実技を学びます。手を通したお互いのコミュニケーションを学んでもらいたいと思います。</p> <p>★動きやすい服装でお越しください</p>
⑥	<p>かずの指導方法</p> <p>筑波大学大学院 教授 川間健之介先生</p>	<p>数を理解し、活用することによって、自分で考える力がつき、生活が豊かになっていきます。数を理解し、活用していくためには、系統的な学習が必要になっていきます。初期学習、基礎学習によって概念が形成され、概念の操作によって考える力が伸びてきます。そして数の学習では、数えること、数の同じの概念形成、数の三項関係の理解、合成分解、足し算(合併・増加)、引き算(求残)、引き算(求差)、かけ算(もとの量のいくつ分)、わり算(等分除)、複雑なたし算やひき算の理解、ひっ算・・・。児童生徒の思考を整理していくことが極めて重要です。</p>
⑦	<p>肢体不自由児の水泳指導</p> <p>関西国際大学 教授 中尾繁樹先生</p>	<p>肢体不自由を有する児童生徒の水泳指導とは、「水慣れ・水遊び」のレクリエーション的なものから、「身体機能向上」のリハビリテーション的なものなどがあります。例えば、32℃～33℃の水温は副交感神経の働きが強くなり、リラクセス効果があったり、関節や身体の動きが柔らかくなったりします。また、水圧を活用した呼吸機能の促進や、浮力を活用した運動など、さまざまな機</p>

会を設定することができます。これらのうち、どこを重視して指導していくかについては、一人一人のニーズによって異なります。そこで、本講座では、①水の性質や効果 ②障害種別によるねらいと指導内容 ③浮き具や補助具の使い方について中心に講座を進めていきます。また、浮き具や補助具は、道具を正しく利用していただくためにも実際に道具を触っていただき、児童生徒を想像しながら体験してもらいたいと思っています。

1.4 災害発生時の対応について

1) 研修会中止の場合

午前7時現在で伊丹市（兵庫県南東部）に特別警報発令、巨大地震等が発生した時、また、それに伴い、伊丹市に通じる主要な公共交通機関（JR宝塚線、阪急電鉄伊丹線）両線が終日運転見合わせの場合に研修会を中止し、午前7時の時点で可能な限りホームページに掲載します。

2) 返金処理について

上記の中止の場合及び、開催地を除く近畿地区において、特別警報等が発令され、地区一帯の先生方の研究会参加が難しい場合においては、返金の処理について協議いたします。協議後、理事会・役員会の承認を得た上で返金の対応をさせていただきます。

個人的理由による返金は一切いたしませんのでご了承ください。

参加申し込み後は参加費が必要です。欠席の場合は、各校で代理を立てていただく等、調整してください。

1.5 会場までの案内図

東り いたみホール 伊丹市宮ノ前1丁目1-3
Tel : 072-778-8788

(本会の内容については、当日の会場では対応しておりません。ご質問がありましたら、
主管校：072-783-5436にお電話ください。)

【付近詳細図】



【JR線利用】

大阪駅より
宝塚線(福知山線)乗車
伊丹駅下車

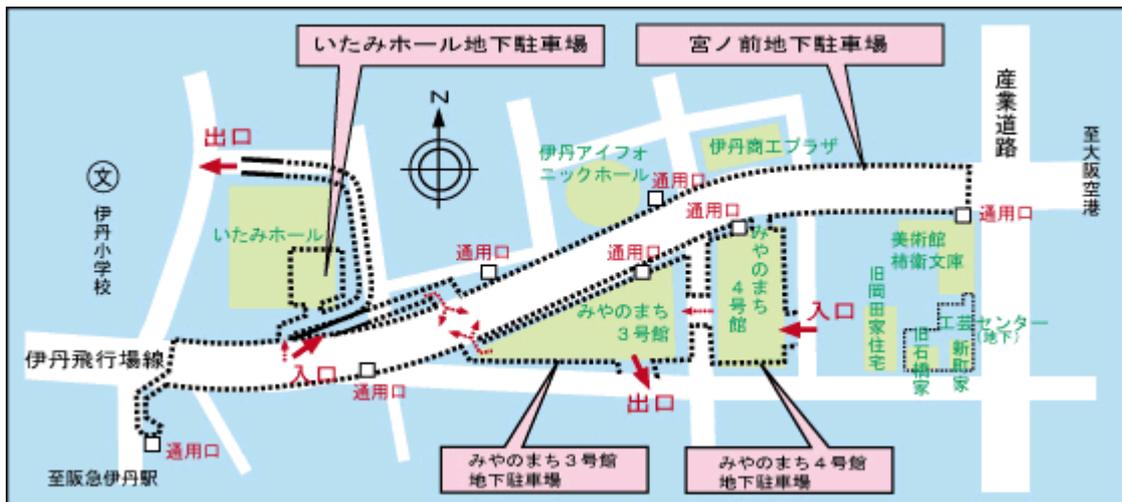
東西線京橋駅より
新三田行乗車 伊丹駅下車
★西明石行の場合尼崎駅で乗り換え

【阪急線利用】

塚口駅で伊丹線乗り換え終点下車

【阪神尼崎駅よりバス利用】

阪急バス 川西池田行き乗車
伊丹本町下車



※ 伊丹市宮ノ前地区地下駐車場（普通自動車1日最大1200円、自動二輪車1日300円）が利用できます。自家用車の場合は乗り合わせてご来場ください。（東りいたみホールホームページに詳細がございます。確認の上お越しくください。）

16 申し込み方法

各校でとりまとめの上、運営委員の方が一括して申し込んでください。

「夏季研修会申込用紙」は、伊丹市立伊丹特別支援学校ホームページからダウンロードしてください。

ホームページアドレス <http://www.y-itami.itami.ed.jp/>

校内の近肢研運営委員を通じて、一括して参加申し込み用紙を作成し、メールにて返信して下さい。 kinshiken@itami.ed.jp

※申し込み締め切り 令和元（2019）年6月14日（金）

17 その他

- ・午後のみ参加の方は、最終決定した実技講座の会場をご確認ください。8月1日にホームページ掲載予定です。当日は大ホール前にも掲示しております。
- ・当日着替えが必要な方のために、更衣室（いたみホール 4階 大和室・中和室）を準備しておりますのでご活用ください。
- ・いたみホールの各実技講座会場内で昼食を取っていただくことができますが、ゴミはお持ち帰りください。

◎何かご不明な点はお気軽にお尋ねください。

伊丹市立伊丹特別支援学校：近肢研担当 教頭：佐藤 眞貴子 教諭：中島 真由美

TEL 072-783-5436 kinshiken@itami.ed.jp